



4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小		○		
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>霊柩自動車運行事業は、出棺先から斎場まで柩及び御遺族を搬送させていただいており、人生最後の葬送儀礼の一環を担う事業として行っているが、最近の利用は減少傾向にある。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>低料金で利用できるこの業務は、年間利用回数の減少、霊柩車自動車運行業務委託の経費を考えると、廃止せざるを得ない状況である。 しかし、市民サービスの一環として運行してきたことを考えると即座に廃止は難しく、利用の状況を見据え、車両の老朽化も考慮し、平成28年度末を目途として廃止を検討しています。</p>